

# 藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	自転車駐車場整備費								担当課	部課名	道路河川部 道路河川総務課					
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	07	細目	001	説明	02	課等の長	北村 和利	電話	4413

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	放置自転車対策の一環として、放置自転車が多く、自転車等駐車場の収容台数が不足し、駐輪需要が高い駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る。					
事業目的および必要性	放置自転車の解消を図るとともに歩行者の安全な通行の確保、自転車利用者の利便性向上を図ることを目的として、放置自転車が多く、自転車等駐車場が不足し、駐輪需要が高い駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る必要がある。					
対象	1. 個人	市民				427,501 人
根拠法令等	法律等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、藤沢市自転車等の放置防止に関する条例				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 株式会社 広国設計ほか3社 )					
	( 委託等内容 : (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場および藤沢652号線測量委託 ) ほか3件					
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )					
<input type="checkbox"/> その他 ( )						

### 藤沢市市政運営の総合指針2020

重点施策名	指針体系コード	その他の計画との関連
防犯・交通安全対策の充実	1-3-31	ふじさわサイクルプランに基づく整備・啓発の推進

### 関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自転車の駐輪施設(駐輪場など)の場所や設備について	2.29 点	- 点	2.36 点	2.38 点
	点	点	点	点

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
18,936 千円	旅費, 需用費	59 千円	神奈川県警察協議交通費, 函面印刷費
	委託料	18,877 千円	藤沢本町駅自転車等駐車場および藤沢652号線測量委託ほか3件
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	旅費, 需用費, 役務費	1,060 千円	神奈川県警察協議旅費, 陽画焼付, 用地鑑定料
	使用料及び賃借料	885 千円	自転車駐車場システム賃貸借
	工事請負費	45,555 千円	自転車等駐車場整備工事費
	負担金補助及び交付金	9,996 千円	藤沢駅南口民間駐輪場改築事業補助金
58,496 千円	補償補填及び賠償金	1,000 千円	自転車駐車場整備に係る補償費

## 2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	1.60	1.30	1.30	2.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1.60	1.30	1.30	2.20

※正規職員等 = 正規職員 + 再任用職員(短時以外) + 任期付職員(短時以外) + 常勤嘱託職員

### 3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	駅周辺の放置自転車対策の一環として、善行駅東口自転車等駐車を再整備するため、善行駅東口周辺の測量を行った。また、藤沢652号線の整備に伴う藤沢本町駅自転車等駐車の移転集約のため、藤沢652号線及び駐車場候補地の測量、自転車等駐車の設計及び家屋調査を行った。						
	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
成果目標	放置自転車等台数(対前年10%減)	台/日	422	410	323	220	
	警告書の貼付枚数(対前年10%減)	枚/年	40,000	36,000	32,400	29,160	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	市営自転車等駐車の増加収容台数	台	1,550	51	115	0	
	市営有料自転車等駐車場利用者数	台/年	967,979	1,100,587	1,155,847	1,241,740	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	放置自転車等台数(実態調査)	台/日	456	359	244	279	
	警告書の貼付枚数	枚/年	39,648	29,297	21,306	19,724	
	数値で表せない効果						

### 4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	382,033	18,955	78,951	46,222
	(1)現金を伴う支出(千円)	379,616	20,302	78,993	43,741
	事業費(支出済額-②報酬合計)	364,412	7,104	65,557	18,936
	償還金利息	39	787	897	3,538
	人件費合計(①+②+③)	15,165	12,411	12,539	21,267
	職員数(常勤 非常勤)	1.60 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	2.20 0.00
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219
	①職員給与合計(常勤)	14,208	11,752	11,831	20,282
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	957	659	708	985
	(2)現金を伴わない支出(千円)	2,417	-1,347	-42	2,481
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,417	-1,347	-42	2,481
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他( )	0	0	0	0
収入	行政収益(事業収入) B	294,089	0	15,200	0
	(3)現金を伴う収入(千円)	294,089	0	15,200	0
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0
	③国庫支出金	69,389	0	0	0
	④県支出金	0	0	0	0
	⑤その他(自転車駐車場整備事業債)	224,700	0	15,200	0
(4)現金を伴わない収入(千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用)A-B E	87,944	18,955	63,751	46,222	
分析指標	項目	456	359	244	279
	1単位あたりの総費用 A/F(円)	837,791.67	52,799.44	323,569.67	165,670.25
	市民1人あたりの負担額 E/人口(円)	210.24 418,308	45.06 420,619	149.97 425,105	108.12 427,501
	受益者負担率 (C+D)/A(%)	0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・(常勤)一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・(常勤)任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	藤沢駅南口及び湘南台駅東口における駐輪需要に対して、現在の駐輪施設では特に定期利用分が不足している現状である。そのため、既存施設の改修を含めた駐輪台数の確保を進める必要がある。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	藤沢駅南口については、江ノ島電鉄高架下の駐輪場の機能と収容力を強化する改修、湘南台駅東口については、駅周辺の一時利用駐輪場の整備による地下駐輪場の定期利用の拡大を検討し、いずれも平成30年度に予算を確保した。
(3) 平成29年度の課題	藤沢駅南口周辺では新たな駐輪スペースの確保が困難なため、依然として放置自転車が多くの駐輪需要に対し駐輪施設の収容台数が不足している。
(4) (3)解決のための今後の取組	藤沢駅南口鶴沼海岸線への自転車駐車場新設の検討、民間提案による小規模空地を利用した駐輪場の配置など駐輪スペースの確保の具体化に努める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成28年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	自転車は通勤や通学をはじめ、日常の便利な交通手段として、幅広く利用されている。また近年、環境負荷の少ない乗り物として地球温暖化の観点から見直されたり、健康志向の高まりを背景に健康的な乗り物としてその利用ニーズが高まっている。本市の人口需要予測では平成42年まで増加が見込まれ、自転車利用について、利用ニーズが高い状態は続くものと想定しており、自転車の駐輪対策の推進が求められている。			
他市等の事例	平成29年度 市営駐輪場箇所数 収容台数（4月1日現在） 放置自転車※ ※駅前放置自転車実態調査	横須賀市 28カ所 9,970台 780台	平塚市 19カ所 11,701台 120台	藤沢市 32カ所 15,237台 279台
市民ニーズ	把握方法	・市民ニーズ（重要度）を把握するためのアンケート調査（自転車利用に関する市民意識調査）を平成26年度に実施。 ・その他、指定管理者による施設の運営等に関する年1回のアンケートを実施。		
	把握内容	・市民意識全般としては、日常の便利な交通手段として幅広く利用されていることから、駐輪施設の重要度が高く、満足度が低くなっており、駐輪施設に関する取組を求められている。 ・駐輪施設利用者のニーズについては、施設に関する満足度、係員の対応、利用目的、利用時間、利用頻度、利用料金等様々なニーズの把握に努めている。アンケートの結果からは駐輪場所の増設・拡大、照明設備の充実や場内駐輪間隔の拡大などが求められている。		
	対応等	引き続き市民ニーズの把握に努めるとともに、多様なニーズへの対応の是非等の検討を含め、今後の駐輪スペースの確保を始めとする様々な自転車施策に反映するよう努める。		

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	放置自転車対策の一環として、善行駅東口自転車等駐車を再整備するため、善行駅東口周辺の測量を行った。また、藤沢652号線の整備に伴う藤沢本町駅自転車等駐車の移転集約のため、藤沢652号線及び駐車場候補地の測量、自転車等駐車の設計及び家屋調査を行った。 自転車は日常の便利な交通手段として幅広く利用され、その利用ニーズは環境負荷の低減並びに健康志向の高まりを背景に、より一層高まっていることから、良好な自転車利用環境及び安全な歩行環境を確保するためにも、当該事業は継続して取り組む事業である。	
今後の方針	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
	事業の方向性	見直し（検討中）
今後の方針	自転車の駐輪対策としては、放置自転車の防止による歩行者の安全確保、受益者負担の原則及び防犯性・利便性の向上を図るため、引き続き有料駐輪施設の整備と無料駐輪施設の有料化を段階的に進め、駐輪環境の向上に努める。 駐輪施設の整備については、駐輪需要が高く放置自転車が多く見受けられる藤沢駅南口において、高架下道路におけるパーキングメーター設置スペースの活用による路上駐輪施設の設置を具体化し、既存の道路等公共ストックの有効活用による駐輪需給バランスの確保施策を進める。中長期的には藤沢駅周辺地区再整備の動向を見据えたうえで、新たな駐輪スペースの確保に努める。また、湘南台駅東口の駐輪場の不足に対して、駅周辺の一時利用駐輪場の整備による地下駐輪場の定期利用の拡大を行う。無料駐輪施設の有料化については、善行駅東口自転車等駐車の設置及び藤沢本町駅自転車等駐車整備の検討を進める。さらに、現在「藤沢市自転車等駐車場設置事業補助金交付要綱」に基づき実施している民間駐輪場の増設策に対する補助内容を見直すとともに、民間活力と連携した事業の実施を検討する。	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	自転車等駐車場の整備及び管理	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2018/5/31
----	-------	----	-------	-----	-----------